

多様な分野で繋がる国際関係学

国際関係学部1期生(3回生)の学び

国際関係学部を 選んだきっかけ

高校生の頃、友達に感化され海外や多文化に関心を持ち、また、外国語を学ぶのではなく、海外について学びたい、海外に行きたいという思いが強くなりました。そこから、国際関係(経済・政治・共生)を扱い、海外実習にも参加できる京都産業大学国際関係学部を受験しました。

大学生活について

大学では英語はもちろん、国際関係の基礎から自身が探求したいトピックまで幅広く学べます。そして、複数の講義を履修するなかで、分野が違おうと思っていたものがどこかで関係・影響しあい、繋がりを持っているところが個人的にはとても面白いです。また、講義では、クラスメイトや先生と意見交換をする機会も多いため、打ち解けやすいと思います



海外Field Research

研修先：マレーシア

実習では、ウタラマレーシア大学で行われている授業への参加やホームステイ、観光地として知られるペナン島への訪問など多くの授業とアクティビティに参加し、マレーシアにおける多文化共生や経済活動について勉強しました。そのほかにも、移動中にパームオイルを運ぶトラックを見かけたことから、オイル生産のために熱帯雨林の破壊や生態系への影響が問題になっていることを知るなど、滞在中のすべてに学びがありました。



ゼミの研究テーマ

「アメリカにおける未成年者の 不法越境について」 (クロスゼミ)

今日、メキシコからアメリカへ、保護者の同伴のない子どもたちが不法に国境を越えるケースが急増していることをご存じでしょうか。私は最近ニュースを見たことで初めて知りましたが、パスポートもアメリカへ渡った先での目的地もない子どもたちが単身で国境線沿いのテントに一時収容されている映像は衝撃的でした。学部でも、移民・難民について学べるため、その知識も含めて自身が興味を持ったこの問題を詳しく掘り下げ、問題解決へのアプローチを考え出そうと思います。